

★ 特集：塗り壁で上質な空間に仕上げる ★

漆喰と珪藻土のハイブリッドで、 健康・安らぎ・安全の住環境を提供

株式会社 木本工業所 代表取締役社長
木本 己樹彦

1. (株)木本工業所について

当社は1930年の創業以来、確かな技術を学び、そして伝統ある左官工法の良さを継承し、また新たな左官工法への取り組みを積極的に行っている『職人集団』である。

創業から左官技術・材料にこだわりを持ち、時代に合わせた施工を行っている。90年の歴史の中で日本固有の神社仏閣だけでなく、商業施設やインテリア等を多岐にわたって手掛けてきた。そうしたことにも驕らず、日頃から己の技術を磨くための努力を惜しまず、日々精進している。

近年は左官工事が必要となる「壁」が減っている一方、「漆喰」など自然素材を活かしたエコで、左官職人が表現する深い味わいを持った左官仕上げの壁・インテリアが再注目されている。左官職人が仕上げる塗り壁やインテリアは健康・安らぎ・安全を提供する。

当社では、この左官の技術・魅力・材料を日本だけにとどめず、『日本の左官職人にしかできない伝統技術』をより多くの人に知ってもらいたいと思い、2017年にはOW KIMOTOとしてアメリカに現地法人を設けた。毎年最低1回は海外の展示会等に参加し、少しでも多くの方に知ってもらえたらと思い地道に活動を行っている。コロナ禍で思い描いていたような活動ができていないものの、今後も続けていきたい事業の1つである。

2. 鎌倉漆喰

鎌倉漆喰は左官業から始まり、創業して90年以上漆喰の扱いを熟知している当社とメーカーが素材における産地はもちろん、徹底的に追求し厳選した材料を使い、こだわりぬいたオリジナル漆喰である。**鎌倉漆喰**が他製品と違うところは、【珪藻土+漆喰】のハイブリッドであるということ。そのため、**鎌倉漆喰**は両方の優れた性能を兼ね備えていることが大きな特長である。

①**防火**…消石灰は耐火性、難燃性の特性があり、万が一火事になっても有毒ガスが発生しない。



▲創業当時の集合写真



▲鎌倉漆喰の主な性能

②**調湿**…消石灰は空気中の二酸化炭素と水を吸収するため、湿度の高いときは湿気を吸い込み、結露を防ぎ、空間の湿度を適度に調節してくれる。さらには調湿効果により、カビやダニが発生しにくい環境を提供する。漆喰が塗られた部屋で過ごす時、その快適さに気づかれるはず。

③**消臭**…アルカリ性の消石灰はたんぱく質を分解し、ペット臭、台所臭、生活臭、トイレ臭、タバコ臭、カビ臭などを消臭する。

④**清潔**…漆喰は静電気が起こらず、埃や花粉、汚れが付きにくい。

⑤**抗菌・防カビ**…漆喰は強アルカリ性のため有機物を分解する殺菌機能がある。そのためカビ菌や細菌の繁殖を抑える。さらに湿気は細菌とカビの原因であるため、漆喰

の調湿効果により細菌とカビを防ぐことができる。日本で特に注意が必要な原因菌(大腸菌・黄色ブドウ球菌)に対して効果を発揮する。他社には真似できない独自の配合で高い効果の抗菌性能を生み出す(黄色ブドウ球菌 \geq 5.1、大腸菌 \geq 6.3 一般財団法人日本繊維製品品質技術センター JIS Z 2801 抗菌性試験 抗菌活性値 2.0 以上で抗菌効果が確認される ※黄色ブドウ球菌 MAX5.1 大腸菌 MAX6.3)。

- ⑥環境・生態系に優しい(SDGs) …自然素材のみで作られた漆喰は、焼却処分をしても有害な物質を出さない。さらに、これを再度燃焼すれば新たな石灰原料としてもリサイクル活用できるので、最近ではリサイクル建材としても注目を浴びている。
- ⑦ホルムアルデヒド吸着分解…近年問題となっているシックハウスの原因の化学物質ホルムアルデヒドを吸着して分解する。シックハウス症候群は、新居などに入居した際に乾燥、涙、鼻水、湿疹、めまい、嘔吐、頭痛などの症状が現れる。特に長時間ホルムアルデヒドを吸うと、癌を発症してしまう可能性もある。漆喰はホルムアルデヒドに対して強い吸着性があり、短期間で室内のホルムアルデヒドを分解することが出来る。

3. 『インフルエンザウイルス』や『新型コロナウイルス』などへの感染防止・予防に漆喰が効果的!?

漆喰には多くの効能があり、その中の1つである抗菌・除菌(防カビ)が『インフルエンザウイルス』や『新型コロナウイルス』などへの感染防止・予防に有効だと言われている。

漆喰の主原料は消石灰(水酸化カルシウム)である。ニュースなどで『鳥インフルエンザ』が日本国内で確認されたときに、白い防護服を着た作業員が鶏舎内や周囲を白い粉末を大量に散布し、消毒をしていた光景を目にされたことがあるかと思う。あの白い粉末が漆喰の主原料の消石灰である。

消石灰は大昔のサンゴ礁がもとになった石灰石を焼成・消化したもので、細かい穴(孔)の空いた構造(=多孔質)をした強アルカリ性のため、細菌やウイルスを吸着し増殖を抑制(分解)する効果が認められている。

鎌倉®漆喰は多孔質の多さでは負けていない「珪藻土」も配合しているため、『多孔質の穴に空気中のあらゆる物を吸着し、漆喰で分解する』というメカニズムを持っている。実際に漆喰は『インフルエンザウイルス』に関しては99.9%不活性化させる作用があることが実証されている。現在、猛威を振るっている『新型コロナウイルス』もインフルエンザウイルスと同じ膜状の構造をした『エンベロープウイルス』のため、理論的には同様の効果が得られるとされている。



▲天井壁一面フラット仕上げ



▲傾斜地に立つレストランの外壁を施工

4. 最後に

当社では、今後も創業より続く左官技術と材料を継承しながら、左官職人の手仕事による深い味わいを持った左官仕上げにこだわり、お施主様に健康で安らぎのある住環境を提供するため**鎌倉®漆喰**をPRするとともに技術の研鑽を行い、日々精進していく所存である。